

令和6年度 生命地域妙高環境会議総会 次第

日時：令和6年5月13日（月）15:30～17:00

会議：妙高市役所 3階 303会議室

1. 開 会

2. あいさつ

鳥居 敏男 議長

3. 議 事

- | | | |
|-----------|-------|-------------------------|
| (1) 議案第1号 | 令和5年度 | 生命地域妙高環境会議事業報告について |
| (2) 議案第2号 | 令和5年度 | 生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について |
| (3) 議案第3号 | 令和5年度 | 入域料事業報告について |
| (4) 議案第4号 | 令和5年度 | 入域料特別会計決算報告について |
| (5) 議案第5号 | 令和6年度 | 生命地域妙高環境会議事業計画（案）について |
| (6) 議案第6号 | 令和6年度 | 生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について |
| (7) 議案第7号 | 令和6年度 | 入域料事業計画（案）について |
| (8) 議案第8号 | 令和6年度 | 入域料特別会計予算（案）について |

4. その他

5. 閉 会

生命地域妙高環境会議

委員名簿

任期：R6.4.1からR8.3.31まで

氏名	委員（所属・役職）	役職	備考
鳥居 敏 男	一般財団法人 自然公園財団 専務理事	議長	出席
城戸 陽 二	妙高市 市長		出席
土屋 俊 幸	東京農工大学 名誉教授	入城料部会 部会長	欠席
中村 浩 志	中村浩志国際鳥類研究所 代表理事		欠席
濁川 明 男	妙高里山保全クラブ 顧問		出席
菅野 由起子	公益社団法人日本山岳ガイド協会	監事	出席

氏名	顧問・アドバイザー（所属・役職）		備考
関 貴 史	環境省長野自然環境事務所 妙高高原自然保護官事務所 自然保護官		出席
本 田 誠	林野庁関東森林管理局 上越森林管理署 行政専門員		出席
高 埜 亜 希	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部 環境センター 環境課長		出席

令和5年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

1 生物多様性保全活動の推進

○いもり池のスイレン駆除活動

【第1回：6月25、26、29、30日の4日間】計97名

(地元地区、環境サポーターズ、ビジターセンター、環境省との協働)

- ・水面藻刈船によるスイレンの刈取り
- ・防草シートの連結作業及び湖底敷設のための土嚢作成
- ・防草シートの湖底敷設作業（防草シート1,200㎡）

【第2回：9月29、30日の2日間】計60名

(地元地区、環境サポーターズ、ビジターセンター、環境省との協働)

- ・手漕ぎボートによるスイレンの刈取り

○笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの駆除活動

【8月17日】計60名

(地元地区、地元保全団体、環境サポーターズ、環境省との協働)

- ・笹ヶ峰オオハンゴンソウ空撮業務委託
- ・笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託
⇒オオハンゴンソウの繁殖状況と駆除作業の効果を定量的に把握し、活動指標とするため発注したもの

○いもり池湿原ヨシ刈り活動

【11月3日】計20名

(ビジターセンター、環境サポーターズ、環境省との協働)

- ・いもり池湿原南端一部においてヨシ刈りを実施

2 プロジェクトの推進

○火打山自然再生プロジェクト

【8月23日～25日】計76名（環境省、環境サポーターズとの協働）

- ・クラウドファンディング充当事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査

○奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト

【9月9日】27名（環境サポーターズ、里山保全クラブ、県退公連との協働）

- ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）

《関連事業》

- ・登山道整備
- ・里山の整備活動
- ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術講習会
- ・自然体験プログラムの開催 など

3 情報発信機能の充実

- 環境会議公式ホームページによる情報発信（ホームページの一部改修）
- 火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用

4 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等への協力
 - ・令和5年度末現在361名が登録（令和4年度末から93名の増）
 - いもり池スイレン駆除活動、ライチョウ生息環境保全活動（イネ科植物刈取り）、渋江川クリーン作戦、オオハンゴンソウ駆除活動、いもり池湿原ヨシ刈りへの参加
- サポーターズグッズ（キャップ）の追加作成

5 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定希少野生動植物の保護
 - ・指定希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板の設置 4月から10月まで
 - ・希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動 通年
 - ・指定希少野生動植物の現地調査（有識者、ビジターセンター、環境省同行）
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - ・盗掘防止看板の設置 5月から10月まで

6 （新）夢見平湿原保全活動

- 夢見平湿原現況把握調査・夢見平遊歩道の現地調査
 - ・8月16日実施（保護官、有識者同行）
- 夢見平湿原におけるハンノキの伐採 10月13日実施（保護官同伴）

7 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰集団施設地区歩道草刈り及び清掃活動
 - ・遊歩道の草刈り、倒木処理及び清掃活動等 5月から10月まで

8 自主財源確保に向けた取組

- 郵便振替、かざして募金、第一スーパー（レジ袋の売上を寄附）、ビジターセンター募金箱等からの寄附 合計142,351円
- ◀関連事業▶
 - ・ライチョウ保護のためのクラウドファンディングの実施（市環境生活課）

9 その他

- 山岳環境保全のための登山道整備員研修の実施
- いもり池周辺環境保全作業

令和5年度 生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	差額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	6,148,551	5,814,831	△ 333,720	市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	633,389	633,389	0	前年度繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	532,000	550,000	18,000	環境省委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	86,060	166,349	80,289	各種寄附、決算利息
		合計	7,400,000	7,164,569	△ 235,431	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	差額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	161,000	0	△ 161,000	書面会議
	2 事務費	1 事務費	758,000	868,956	110,956	職員旅費、車両リースほか
2 事業費	1 事業費	1 スイレン駆除	2,800,000	2,648,430	△ 151,570	保険代金、池底シート、刈取り関係資材ほか
		2 オオハンゴンソウ駆除	195,000	269,771	74,771	保険代金、空撮業務委託、駆除作業評価業務委託
		3 火打山自然再生	2,000,000	1,398,082	△ 601,918	生息地回復調査委託ほか 財源：クラウドファンディング寄附金1,674,000円
		4 渋江川クリーン作戦	30,000	1,000	△ 29,000	保険代金
		5 ホームページ運営費	180,000	208,450	28,450	ホームページ保守・改修委託
		6 環境サポーターズ制度推進費	450,000	206,250	△ 243,750	サポーターズキャップ作成委託
		7 希少野生動植物保護活動	30,000	24,000	△ 6,000	有識者謝金
		8 ミズバショウ増殖事業	30,000	0	△ 30,000	
		9 夢見平湿原保全活動	100,000	5,494	△ 94,506	消耗品、有識者謝金
		10 笹ヶ峰高原除草清掃活動	532,000	458,480	△ 73,520	環境省委託費充当事業 ※車代等については事務費に計上
3 予備費	1 予備費	1 予備費	134,000	0	△ 134,000	
		次年度繰越金		1,075,656		
		合計	7,400,000	7,164,569	△ 235,431	

【次年度繰越金の内訳】 寄附金及び寄附による事業の執行残額は、次年度へ繰越する。

項目	金額	摘要
繰越金	633,389	過年度繰越金（令和4年度までの寄附金等）
諸収入	166,349	令和5年度の寄附金等
火打山再生プロジェクト	275,918	1,674,000円（クラウドファンディング寄附額）から執行済額1,398,082円を差し引いた額 275,918円
合計	1,075,656	

【戻入額の考え方】 市負担金については、精算して返納する。

市負担金 6,148,551円 + 環境省委託費 550,000円 - 歳出額 6,088,913円
 - クラファン差引額 275,918円 = 市会計への戻入額 333,720円

令和5年度 入域料事業報告について

1 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

予算額 2,500,000円 決算額 1,504,950円

(執行差額 995,050円はR6へ繰越)

①妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査

予算額 500,000円 決算額 0円

※ 環境会議一般会計予算 1,674,000円と合計して 2,174,000円で事業執行を計画していたが、環境会議一般会計予算負担分(決算額 1,397,257円)のみで執行ができたため入域料会計から支出しなかった。

②令和5年度頸城山塊ライチョウ個体数調査法検討事業

予算額 1,000,000円 決算額 990,000円

A) 個体数推定法のレビュー

(高精度、高確率なライチョウ個体数の測定方法の検討)

B) 個体数の調査

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査

予算額 1,000,000円 決算額 500,000円

※ 当初1検体8万円で12検体の調査を見込んでいたが、環境省紹介の山形大学協力のもと、所有する32検体を50万円で発注することができた。

④その他事業実施のためのボランティア保険料及び振込手数料等

決算額 14,950円

(2) 登山道整備事業

予算額 1,810,000円 決算額 1,419,825円

(執行差額 390,175円はR6へ繰越)

①妙高山火打山地域における登山道整備事業

予算額 1,210,000円 決算額 888,525円

妙高山登山道 光善寺池～鎖場他の近自然工法による登山道整備

※市発注額 1,184,700円 環境会議の負担割合 75%

※別紙報告書添付

②火打山登山道足洗い場設置

予算額 200,000円 決算額 131,892円

- ・ 8月9日設置
- ・ 10月31日撤去
- ・ 令和6年度以降も設置予定
- ・ 看板設置による種子落としの協力依頼

種子落としにご協力を

靴に付着した外来植物の種子を登山前に落とし、山域への持ち込みの防止に取り組んでいます。

靴裏を洗い流してからの登山にご協力をお願いいたします。

※この足洗い場は入域料で整備・管理しています。

生命地域妙高環境会議



③妙高山登山道クサリ場修繕

予算額 200,000 円 決算額 97,900 円

- ・令和5年度に架け替えたクサリ場のクサリについて、1年が経過したことから設置状態の点検を10月12日に実施した。ナット、マイロン等に緩みはなく、アンカーも安定して接着されていた。今後は、通常管理の中での点検、確認を実施していく。

④火打山笹ヶ峰登山口入山者カウンター設置

予算額 200,000 円 決算額 269,500 円

- ・火打山笹ヶ峰登山口付近に登山者数カウンターを設置し運用した。

⑤その他草刈用資材、振込手数料等 決算額 32,008 円

2 その他

(1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（例：入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けられることのできる取組をの実施

- ・妙高高原ふれあい会館から入浴料の割引

(2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）

- ・各収受場所におけるポスターの掲示
- ・NHKなどのテレビメディアや、SNSやWEBアプリを活用した広報

(3) 山岳用携帯トイレの普及啓発（笹ヶ峰登山口及び燕温泉登山口での販売、登山口近隣旅館業者に対する取扱いの依頼）

- ・笹ヶ峰登山口での自動販売機による販売：販売数 72 個
- ・燕温泉大日屋での販売：販売数 20 個
- ・笹ヶ峰及び燕温泉登山口に携帯トイレ回収ブースの設置及び定期的な廃棄物の回収

(4) 入域料電子決済の導入（PayPay・Syncable）

- ・PayPay 決済：収受員配置時において実施
収受額 253,000 円（うち支払手数料 5,011 円）
- ・クレジットカード決済（Syncable）：ホームページ、QRコードによる誘導
収受額 23,378 円（うち支払手数料 1,272 円、振込手数料 260 円）
※QRコードは登山口の掲示物に表示

(5) 入域料周知啓発のため、妙高高原ビジターセンター及び関山駅駅舎サロンに入域料紹介ブース（試行収受場所）を設置。

- ・妙高高原ビジターセンターに設置（収受額 182,199 円）
- ・関山駅駅舎サロンは、サロン運営団体において検討の結果、現状設置見送り

令和5年度 入域料特別会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	差額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	132,440	106,130	△ 26,310	市からの会議費に対する負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,600,000	4,855,425	255,425	入域料総額
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	4,266,082	4,266,082	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	51,478	45	△ 51,433	決算利息 45円
合計			9,050,000	9,227,682	177,682	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	差額	備考	
1 運営費	1 会議費	1 会議費	132,440	106,130	△ 26,310	部会謝金等	
	2 事務費	1 事務費	200,000	162,604	△ 37,396	笹ヶ峰入域料箱作成、收受にかかる消耗品	
	3 広告費	1 広告費	250,000	84,975	△ 165,025	入域料チラシ作成（データ、紙）	
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ保護対策事業	2,500,000	1,504,950	△ 995,050	・頸城山塊ライチョウ個体数調査手法検討委託 ・ライチョウ捕食動物の糞便遺伝子解析によるモニタリング調査業務委託	
		2 登山道整備事業	1,810,000	1,419,825	△ 390,175	・登山道整備委託負担金 ・クサリ場点検委託 ・作業消耗品、ヒュッテ宿泊費ほか	
		3 収受員賃金	400,000	331,980	△ 68,020	笹ヶ峰・燕収受員賃金	
		4 燕管理費	60,000	57,234	△ 2,766	燕温泉登山口管理費	
		5 協力者記念品	1,000,000	994,305	△ 5,695	木製キーホルダー10,000個	
		6 山岳用携帯トイレ購入	50,000	50,710	710	山岳用携帯トイレ180個	
		7 事前決済手数料	10,000	0	△ 10,000		
	2 繰越事業費	1 ライチョウ事業分繰越事業費	2,500,000		2,559,922	2,014,969	ライチョウ事業分 過年度 995,050 当年度 1,564,872
		2 登山道整備事業分繰越事業費			1,955,047		登山道整備事業分 過年度 390,175 当年度 1,564,872
	3 予備費	1 予備費	1 予備費	137,560	0	△ 137,560	
合計			9,050,000	9,227,682	177,682		

【戻入額の考え方】市負担金の会議費については、精算して返納する。

市負担金 132,440円－会議費支出 106,130円＝市会計への戻入額 26,310円

【繰越事業費の考え方】

繰越事業費（事業別）＝過年度繰越事業費＋当年度繰越事業費（当該年度の会計残額を折半）

監査報告書

令和5年度の生命地域妙高環境会議会計の経理について監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

1. 監査年月日 令和6年4月19日
2. 監査事項 令和5年度 生命地域妙高環境会議一般会計
令和5年度 生命地域妙高環境会議入域料特別会計
3. 監査結果 経理については、関係諸帳簿及び証拠書類ともよく整理され、事務は適正に執行されていることを認めました。

監事 菅野由起子 

令和6年度 生命地域妙高環境会議事業計画（案）について

1 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレン等外来生物（植物）の駆除活動の実施
 - ・池の平温泉区協議会との連携によるスイレン駆除活動
 - ※防草シートの湖底への敷設 1,200 m²
 - ※専用ボートによるスイレン駆除作業（令和5年度まで実施していた春1回を春秋2回に増加）
- オオハンゴンソウの駆除活動（笹ヶ峰高原及びいもり池周辺）
- いもり池湿原ヨシ刈り活動

2 プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
 - ・クラウドファンディング充当事業
 - 「妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務」
 - 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
 - ・（新）里川保全負担金
 - 里川の環境や生態系の保全のため、関川水系の監視や現況調査を関川水系漁協へ依頼するもの。
 - ・ふる里の川普請
 - 里川の清掃活動（渋江川クリーン作戦）
- ≪関連事業≫
- ・登山道整備
 - ・里山の整備活動
 - ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術講習会
 - ・自然体験プログラムの開催 など

3 情報発信機能の充実

- 環境会議公式ホームページによる情報発信（ホームページの一部改修）
- 火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用

4 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動やプロジェクトを実施するためのボランティア団体の運営及び会員募集
 - ・令和6年度から、団体登録を開始。登録した団体名はホームページに掲載。
- 環境サポーターズスキルアップ講習会の開催
- 環境サポーターズには、国立公園オリジナルTシャツ及び活動キャップの進呈

5 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定希少野生動植物の保護
 - ・ 指定希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板設置
 - ・ 希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動
 - ・ 指定希少野生動植物の現地調査

6 夢見平湿原保全活動

- 夢見平湿原・遊歩道の現況把握調査、環境保全作業

7 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰高原における遊歩道の除草及び清掃活動

8 自主財源の確保

- 入域料収受活動の実施（入域料部会）
- 各種寄付金の受付
- ≪関連事業≫
 - ・ ライチョウ保護のためのクラウドファンディングの実施（市環境生活課）

9 その他

- 山岳環境保全のための登山道整備員研修の実施
- いもり池周辺環境保全作業及び自然観察遊歩道の設置
- 妙高山・火打山地域自然資産地域計画期間満了に伴う新規計画の策定

令和6年度 生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	8,984,734	6,148,551	2,836,183	市負担金 ※クラウドファンディング2,468,000円含む ※企業版ふるさと納税500,000円含む
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,075,656	633,389	442,267	令和5年度からの繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	550,000	532,000	18,000	環境省からの委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	89,610	86,060	3,550	各種寄付金、利息ほか
		合計	10,700,000	7,400,000	3,300,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	330,000	161,000	169,000	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	1,370,000	758,000	612,000	事務消耗品、車両管理費、ピンバッジ作成費、ほか
2 事業費	1 事業費	1 スイレン駆除	3,300,000	2,800,000	500,000	保険代金、池底シート、刈取り関係資材ほか
		2 オオハンゴンソウ駆除	400,000	195,000	205,000	保険代金、空撮業務委託、駆除作業評価業務委託
		3 火打山自然再生	2,500,000	2,000,000	500,000	生息地回復調査委託ほか 財源：クラウドファンディング寄附金2,468,000円
		4 渋江川クリーン作戦	30,000	30,000	0	保険代金、消耗品
		5 里川保全負担金	60,000	0	60,000	関川水系の監視・現況調査
		6 希少野生動植物保護活動	30,000	30,000	0	有識者謝金
		7 ミズバショウ増殖事業	0	30,000	▲ 30,000	
		8 いもり池ヨシ刈り	30,000	0	30,000	保険代金、消耗品
		9 夢見平湿原保全活動	70,000	100,000	▲ 30,000	材料代、消耗品
		10 笹ヶ峰高原除草清掃活動	532,000	532,000	0	環境省委託費充当事業 ※車代等については事務費で一括計上
		11 ホームページ運営費	250,000	180,000	70,000	ホームページ保守・改修委託
		12 環境サポーターズ制度推進費	1,500,000	450,000	1,050,000	サポーターズ記念Tシャツ・キャップ作成委託
3 予備費	1 予備費	1 予備費	298,000	134,000	164,000	
		合計	10,700,000	7,400,000	3,300,000	

令和6年度 入域料事業計画（案）について

1 妙高山・火打山地域自然資産地域計画の策定

現計画が令和6年度をもって期間満了となることから、次期計画を策定するもの。

（1）利用者アンケート

入域料に関するアンケートを実施する。

※アンケート項目については、別紙（案）のとおり

※アンケート目標 最低回収数 300人（1日10人×30日）

前回：対象 2,837人 回収 1,486人

（2）スケジュール

令和6年7月 アンケート実施（7/1～10/31）

9月 事務局において、現計画の事後評価

10月 事後評価及び次期計画方針への意見聴取（第2回入域料部会）

令和7年2月 次期計画（案）への意見聴取（第3回入域料部会）

4月 次期計画の報告及び最終調整（令和7年度第1回入域料部会）

5月 妙高環境会議本会への次期計画の報告

2 入域料の収受実施内容

（1）収受場所

①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口

④妙高高原ビジターセンター ⑤インターネットを利用した事前決済

※③新赤倉登山口は、スカイケーブル架け替え工事の状況による。

（2）収受期間

令和6年7月1日（月）から10月31日（木）まで

（3）収受方法

①笹ヶ峰登山口及び②燕温泉登山口

- ・土日祝日等登山者が多く見込まれる日の午前5時から午前10時まで収受員を配置し有人による収受を行う。
- ・収受員は、笹ヶ峰と燕温泉に配置する。
- ・収受員賃金等収受コストの効率化を図るため、収受員の配置日数は概ね令和5年度を上限とし、笹ヶ峰登山口と燕温泉登山口で交互に収受員を配置するなど減員に向けた措置を取る。
- ・収受員配置時は、PayPayでの収受も受け付ける（R5年度から導入）。
- ・収受員が配置されていない時間は、入域料箱で無人による収受を行う。
- ・燕温泉登山口において、駐車場トイレ付近に新たに収受箱ブースを設置する（環境会議一般会計にてブース作成）。

③新赤倉登山口（スカイケーブル乗り場）

- ・終日入域料箱による収受を行う。

④妙高高原ビジターセンター

- ・入域料の取組の周知を目的に、入域料箱による収受を行う。

⑤インターネットを利用した事前決済（R3年度からの継続）

- ・クラウドファンディング事業者（Syncable）との契約により実施する。

（4）金額

500円（任意）

3 入域料充当事業

（1）ライチョウ保護対策事業 2,600,000円

①妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査

予算額：1,100,000円（合算事業額1,500,000円）

※生命地域妙高環境会議一般会計と合算事業

箇所：ライチョウ平事業区

内容：・環境改善事業

- ・センサーカメラ調査

- ・イネ科植物除去作業

- ・ライチョウ捕食者に係る糞調査

- ・高谷池ヒュッテにおけるライチョウ捕食者の確認

- ・事業の評価

②令和6年度頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査

予算額：1,000,000円

箇所：火打山及び焼山周辺

内容：・個体数調査

- ・大型哺乳類相調査

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査

予算額：500,000円

内容：・上記①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析を行う。

- ・令和5年度の調査結果から、7月以降の成鳥は捕食の実態が確認できなかったことから、令和6年度は、7月上旬までのライチョウのヒナの時期の捕食状況を把握するため、それまでの期間のライチョウ捕食者の糞を採取する。

- ・その糞を、本業務によりDNA分析し捕食状況を把握する。

（2）登山道整備事業 2,000,000円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業

予算額：1,150,000円（歳入充当による市実施事業）

箇所：火打山登山道 富士見平から高谷池ヒュッテ方面

内容：洗掘箇所の登山道整備、周辺の植生回復対応

②火打山登山道足洗い場設置

予算額：100,000 円

箇所：火打山笹ヶ峰登山口付近

内容：令和5年度に作成した足洗い場の改修

③登山道整備資材購入・輸送

予算額：750,000 円

内容：木道整備のための木材の作成、高谷池ヒュッテまでの空輸

□120mm×1mの角材 150 本及びボルト等

4 その他

- (1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けることができる取組を実施
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発

令和6年度 入域料特別会計予算(案)について

1. 歳入

(単位:円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	199,140	132,440	66,700	市からの会議費に対する負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,800,000	4,600,000	200,000	@500円×9,600名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	4,514,969	4,266,082	248,887	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	85,891	51,478	34,413	預金利息等
		合計	9,600,000	9,050,000	550,000	

2. 歳出

(単位:円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	199,140	132,440	66,700	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	200,000	200,000	0	収受に係る消耗品、自動販売機管理ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	250,000	△ 50,000	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ保護対策事業	2,600,000	2,500,000	100,000	・ライチョウ生息地回復事業 ・各種分析調査費用ほか
		2 登山道整備事業	2,000,000	1,810,000	190,000	・登山道整備委託負担金 ・木道材料購入費輸送料金ほか
		3 収受員賃金	400,000	400,000	0	休日早朝における収受員賃金
		4 調査員賃金	400,000	0	400,000	計画策定に伴うアンケート調査員賃金
		5 燕管理費	60,000	60,000	0	燕登山口収受・返礼品管理
		6 協力者記念品	1,100,000	1,000,000	100,000	木製ストラップ (@110円×10,000個)
		7 山岳用携帯トイレ購入	60,000	50,000	10,000	携帯トイレ (@300円×200個)
		8 事前決済手数料	0	10,000	△ 10,000	
	2 繰越事業費	1 ライチョウ事業分繰越事業費	1,149,922	2,500,000	△ 100,078	次年度以降のライチョウ保護対策事業へ充当
		2 登山道整備事業分繰越事業費	1,145,047		△ 104,953	次年度以降の登山道整備事業等へ充当
3 予備費	1 予備費	1 予備費	85,891	137,560	△ 51,669	
		合計	9,600,000	9,050,000	550,000	